

写真で辿る 慶應看護 100年

「戦後の新看護教育へ」 1950～2000年

戦後の大きなダメージから立ち直った看護婦産婆養成所は、看護婦免許も地方免許から国家免許となる新制度のもと、1950（昭和 25）年 4月に厚生女子学院として新たな看護教育をスタートしました。大学病院看護部も先駆的にプライマリーナーシングや看護診断を導入し、質の高い看護とその提供方法を探究し続けてきました。さらに専門的な看護実践教育のため、1988（昭和 63）年に看護短期大学へと改組されています。



1990年
看護短期大学弓道部



1983年 戴帽式



1980年
戴帽式 キャンドルサービス



1976年 臨床実習(別科)



1960年代 教室実習



1956年 戴帽パーティ



1950年 講義風景



1990年
看護短期大学演習風景



1982年 卒業式(本科)



1980年 教室風景(二部)



1968年 教室風景



1956年 卒業式



1950年
臨床実習



1951年 体育風景



看護短期大学校舎(1991撮影)



1980年代
厚生女子学院渡り廊下



1980年代
厚生女子学院看板



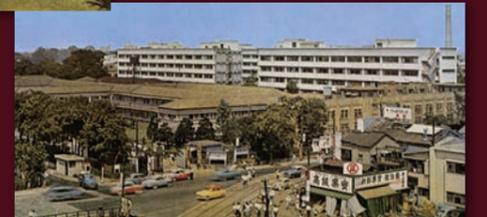
1980年代
別館屋上からみた厚生女子学院校舎と慶應病院



1980年代
看護婦寮 紅梅寮



1960年代
大学病院本館



1960年代
信濃町駅方向からみた信濃町キャンパス